

一般社団法人静岡県測量設計業協会 令和5年度事業報告

1 定時総会

令和5年5月17日(水)ホテルグランヒルズ静岡において定時総会を開催し、下記の議案を審議し可決した。

会員総数 59名中 58名(出席者 42名、委任状 16名)

[議案]

- (1) 令和4年度事業報告について
- (2) 令和4年度収支計算書及び監査報告について
収支計算書、貸借対照表、財務諸表に対する注記、正味財産増減計算書
財産目録、監査報告書
- (3) 令和5年度事業計画(案)について
- (4) 令和5年度収支予算書(案)について
付帯決議(案)

2 理事会

理事会を10回開催して、協会の運営並びに事業活動等について審議した。
(4月18日、5月17日、6月21日、7月31日、9月15日、10月25日
12月6日、令和6年1月19日、2月16日、3月15日)

3 監査

令和5年4月18日(火)協会会議室において、鈴木達美監事、鍋田昌吾監事が令和4年度の会計及び業務の監査を実施した。望月専務理事が説明し、監査には藤山義修会長、服部剛明副会長(会計担当)が立ち会った。

監査結果は、「収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録」は会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状況を正しく示していること、及び事業報告書の内容は適正であることが認められた。

この監査結果については、令和5年5月17日開催の定時総会で報告された。

4 入会及び退会者 (入退会日)

入会者 株式会社アクシス 浜松市中央区富塚町 2156-47 (令和5年11月1日)
株式会社テクノスジャパン 沼津市下香貫七面 1133-1(令和6年3月1日)

退会者 佐藤測量設計株式会社 三島市谷田押切 1274-12 (令和6年3月31日)
令和6年3月31日現在 正会員 61社 賛助会員 5社 計 66社 (R6.4.1現在 正会員 60社)

5 要望活動等

- (1) 令和5年6月21日(水) 正副会長・専務理事らは、勝又交通基盤部長や関係部局・各課、県企業局、県教育委員会に「静測協会員名簿(令和5年5月現在)」を配布し、挨拶を行った。
- (2) 令和5年9月5日(火) 正副会長・専務理事と企画委員会は、県産業経済会館特別会議室において県交通基盤部関係者との意見交換会を開催した。
- (3) 令和5年10月17日(火) (一社)静岡県建設産業連合会団体連合会と県交通基盤部との意見交換会が静岡市産学交流センター会議室において行われ、亀谷理事が出席して要望した。
- (4) 令和5年10月29日(日) 藤山会長は、SBS ラジオ番組「ラジオフォーラム・しずおかマイトーク」に出演し、業界の現状や災害対応、人材確保・測量資格等幅広く話をした。この番組は、(一社)静岡県中部未来懇話会との制作で、静岡県を舞台に活躍する企業や団体のトップを迎えて紹介する昭和59年4月からスタートし千回を越える長寿番組で、10月4日(水)に静岡新聞・静岡放送本社スタジオで収録が行われた。また、同会の会報「中部未来」11月号に要旨が紹介され、広く県民に協会を伝えることができた。
- (5) ■令和5年11月1日(水) (一社)静岡県測量設計業協会(正副会長・専務理事、企画及び技術委員長)、(一社)静岡県建設コンサルタント協会、(一社)静岡県地質調査業協会の建設関連業3団体と国土交通省中部地方整備局県内6事務所は、グランデイール ブケトーカイにおいて意見交換会を行った。
- (6) ■全測連中部地区協議会(3県測協会長)と国交省中部地方整備局企画部との要望会は、令和5年12月8日(金)に中部地方整備局において行われ、鈴木副会長が出席した。
- (7) 令和6年1月9日(火) (一社)静岡県測量設計業協会、(一社)静岡県建設コンサルタント協会、(一社)日本補償コンサルタント協会中部支部静岡県部会、(一社)静岡県地質調査業協会の建設関連業4団体による静岡県川勝知事・森副知事への年始挨拶は、各会長ら4名により行われた。このあと、3副会長と専務理事による関係部局への新年の挨拶と機関誌「静測協2024年号」の配布を行った。

6 総務委員会

- (1) 技術論文等の投稿機会の創出とCPD(技術者の継続教育)のポイント取得、会員・業界全体への技術の継承を図る「静測協図書館」をホームページ内に令和3年5月に開設しました。

また、今年度で3年目となる図書館研究論文の募集は、4月1日から9月末の

募集期間を設け、応募は11件あった。審査会・理事会を経て、協会HPの図書館に11件を閲覧できるようにして、このうちの優秀作品5件は機関紙にも掲載し、代表作1件の表彰式は、令和6年5月の総会に予定している。

- (2) 浜松市沿岸部は地域特有の砂丘景観があり、観光資源でもある「砂地」と貴重種カワラハンミョウの生息環境を維持するため、社会貢献の一環として中田島砂丘除草作業を令和5年10月3日（火）に行った。

参加者 29名 雑草113kg ゴミ袋44袋 運営 西部支部

- (3) 創立50周年記念事業検討（令和5年2月の理事会で特別委員会を設置）

今年度に入り、事業部会（東部支部担当）は講師・記念品を提案し、理事会は承認した。記念誌部会（西部支部担当）は3回開催し、理事会の確認のもと、掲載内容を詰めてきた。

7 広報・経営改善委員会

- (1) 「測量の日」中部地区連絡協議会

「測量の日」中部地区連絡協議会は、日本測量協会中部支部長、全測連・中部地区協議会長、国土地理院中部地方測量部長、国土交通省中部地方整備局企画部技術調整管理官、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、名古屋市の行政機関、岐阜県測協、静岡県測協、愛知県測協、三重県測協、東海工業専門学校金山校の14機関で構成されている。

令和5年12月11日（月）実行委員会（愛知県測協会議室）開催

竹内広報・経営改善委員長と望月専務理事が出席した。

令和6年3月13日（水）委員会（アイリス愛知）には、藤山会長が出席した。

- (2) 「測量の日」中部地区連絡協議会記念行事「測量の日」記念講演会開催

4県測協の持ち回りと国土地理院中部地方測量部の隔年開催で実施しており、今年度は、（一社）愛知県測量設計業協会により、令和5年6月16日（金）に名古屋市の「吹上ホール」第1ファッション展示場において、講演会・展示会が行われ、正副会長等9名が出席した。

- (3) 「地図教室」（小学校・中学校を対象）（運営 広報・経営改善委員会）

国土地理院中部地方測量部の担当官がプロジェクターを使って講話を行い、測量の役割や地図の読み方を説明した。（講話）

次に、広報・経営改善委員長等から日本地図を歩いて製作した伊能忠敬のお話と会員の測量士らと共に、児童は10メートル歩いた歩数から自分の歩幅を割り出した後、ひみつの道で自分が歩いた歩数と歩幅から距離を計算する問題に取り組んだ。その後、測量機器を使った計測を行い、正確な距離との比較を学んだ。（測量体験学習）

静測協では、下記の小学校・団体において、広報・経営改善委員会及び地元協会員が中心となり「地図教室」を開催し、ドローンによる集合写真を最後に撮影しました。なお、国土地理院中部地方測量部からは永田次長が参加した。

8月24日（木）静岡市立西奈小学校の11月21日開催の打合せと令和6年度希望の静岡市立井宮北小学校への打合せ（9月7日木曜日）には、鶴田委員とともに望月事務局長も出席した。

「地図教室」開催校（3校）

学 校 名	所 在 地	児 童 数	開 催 月 日
浜松市立新原小学校	浜松市浜北区新原 2331	4年生 41名	6月6日
下田市立稲生沢小学校	下田市立野 6番1号	4年生 32名	6月20日
静岡市立西奈小学校	静岡市葵区	5年生 84名	11月21日

運営 広報・経営改善委員会・各支部長・会員職員・事務局長

※協力会員 6月6日：不二総合コンサルタント(株)、(株)技研測量、(株)中部総合コンサルタント、吉田測量設計(株)、6月20日：(株)ウィンディーネットワーク、(有)渡辺測量事務所、11月21日：(株)建設コンサルタントセンター、昭和設計(株)、(株)スルガコンサル、ツルタコンサルタント(株)、服部エンジニア(株)（協力会員 11社）

来年度の開催に向けては、国土地理院中部地方測量部永田次長と望月事務局長が令和6年2月16日（金）に静岡県教育会館で行われた静岡県教育研究会社会科研究部委員研修会において、地図教室の説明を行った。

(4) 6月3日の「測量の日」は、測量の意義と重要性について国民に理解と関心を一層高めることを目的に、平成元年に制定されたもので、35回目を迎えた。

令和5年6月2日(金)の建通新聞7面に「6月3日は『測量の日』」の広告を掲載し、「測量の日」を機会に、国民に新しい時代の測量・地図の意義と重要性について、一層の理解を訴えた。

(5) 令和5年度社長研修会

令和5年10月12～13日(木・金)に沼津リバーサイドホテルにおいて開催した。講師には、中部地方整備局沼津河川国道事務所副所長 中村一郎氏をお迎えし「令和5年度の主要事業について」と題して講演していただいた。

参加者 37名

(6) 発注機関等への啓発活動

ア 令和5年度会員名簿1,600部を発行し、6月に正副会長や東部・中部・西部の各支部の役員・会員により、県内発注機関（国土交通省等の出先事務所、県庁及び出先事務所、市町等）に会員への指名方の要望と併せて配布した。

- イ 機関誌「静測協 2024 新年号」を 1,250 冊発行し、令和 6 年 1 月に会員の協力により県内発注機関、関係大学高校及び各都道府県測量設計業協会・地図教室開催校等に配布し、協会活動の紹介を通じて、業界及び協会の啓発・周知を図った。
- ウ 建通新聞に協会名と全会員の社名入り年賀広告を掲載(令和 6 年 1 月 1 日号)し、協会及び会員・賛助会員名の PR をした。
- エ 全測連の機関誌「全測連 2024」(250 部)を 1～2 月に掛けて会員及び県内発注機関や関係する 12 の学校に配布した。

(7) 消費税インボイス制度研修会

令和 5 年 7 月 19 日(水) 静岡県男女共同参画センターあざれあ 2 階大会議室において、午後 2 時から監事の鍋田会計事務所の公認会計士・税理士鍋田昌吾氏による研修会を行い、質問も沢山出ました。参加者 25 名

(8) 県民無料測量設計相談所

協会内に常設相談所を置き、主に電話による相談に応じ、5 件の相談があった。

(9) ホームページの管理

協会のホームページを通して積極的に情報開示し、最新の情報の掲載に努めるとともに、図書館に応募作品を掲載し、会員職員の技術の向上と業界の継承に取り組んだ。

8 企画委員会

- (1) 静岡県交通基盤部との意見交換会テーマ(意見・要望)と中部地方整備局との要望会への要望を、4 月に会員へ依頼して、5～7 月に掛けて取りまとめ、静岡県交通基盤部建設経済局技術調査課と全測連中部地区協議会へ提出した。

5 月 26 日(金)と 6 月 29 日(木)に企画委員会を開催して取りまとめた。

- (2) 静岡県交通基盤部関係者との意見交換会の実施

運 営 企画委員会・県技術調査課

日 時 令和 5 年 9 月 5 日(火) 9:30～11:30

場 所 静岡県産業経済会館 3 階 特別会議室

出席者 静岡県交通基盤部 建設政策課、建設業課長、工事検査課長他、
河川海岸整備課長、土木防災課長、砂防課

【県窓口】技術調査課長、課長代理、技術調査班長、建設 ICT 推進班長

(計 11 名)

(一社) 静岡県測量設計業協会 (計 9 名)

藤山会長、鈴木副会長・服部副会長・牧田副会長、勝間田理事(企画委員会委員長)、大井委員・荒山委員・田内委員、望月専務理事
令和 5 年 9 月 29 日には、この議事録を会員にメールで配信した。

- (3) 中部地方整備局と全測連中部地区協議会の要望会は、令和5年12月8日に行われ、鈴木副会長が出席した。

9 技術委員会

(1) 技術講習会 運営 技術委員会

ア 第1回技術講習会〔共催 公益社団法人日本測量協会〕実務者向けセミナー
(ビデオ講習会)～UAVを中心とした複合的な計測とその利用～

日 時 令和5年9月1日(金)9:30～16:30

場 所 静岡県静岡労政会館 6階 大ホール

テーマ 及び 講師

- ・開会・UAV利活用セミナーから見てきた動向 日本測量協会副会長 瀬戸島政博
- ・UAV計測技術の最新動向 日本測量協会認定講師 ルーチェサーチ(株) 渡辺 豊
- ・地域に根ざしたUAV計測の利活用事例(その1)
～UAV計測を地域で活用するために～
日本測量協会認定講師 (株)寒河江測量設計事務所 大沼 啓一
- ・地域に根ざしたUAV計測の利活用事例(その2)
～農村整備におけるUAV利活用事例:農業用施設の管理及び災害対応～
日本測量協会認定講師 (株)タックエンジニアリング 佐々木 聖
- ・地域に根ざしたUAV計測の利活用事例(その3)
～地域特性に合わせたUAVを主体とした複合的測量の利活用事例～
日本測量協会認定講師 CSGコンサルタント(株) 安藤 港増
- ・地域に根ざしたUAV計測の利活用事例(その4)
～モニタリングから災害対応での利活用まで～
日本測量協会認定講師 (株)ナカノアイシステム 安田 明
- ・UAV利用技術をより深めるために・閉会 日本測量協会 専務理事 住田 英二
参加者56名が出席した。

イ 第2回技術講習会〔測量のためのドローン操縦研修会(基礎講座)〕

日 時 令和5年10月23日(月)13:20～16:40

場 所 静岡県総合研修所もくせい会館 富士ホール、体育館

テーマ及び講師

- ・座学 ドローンによる測量技術の基礎知識について
(株)豊富 測量士 JUIDA認定講師 DJIスペシャリスト 松浦 真悟
- ・実習 ドローンによる測量の操縦方法について
(株)豊富 測量士 JUIDA認定講師 DJIスペシャリスト 松浦 真悟
JUIDA認定講師 井上 僚次

受講者12名が参加した。

(2) 地理空間情報産学官中部地区連携協議会に参画

地理空間情報産学官中部地区連携協議会の構成は、産業界から(公社)日本測

量協会中部支部、(一社)全測連中部地区協議会及び4県の(一社)測量設計業協会、学界から名古屋大学、岐阜大学及び中部大学、官から国土交通省中部地方整備局企画部、国土地理院中部地方測量部、愛知県他3県4市等、事務局は国土地理院中部地方測量部である。

産学官が連携して取り組むべき課題、これに関連する学術、産業、技術・研究開発の動向等に関する意見交換及び情報提供等を行うために開催した。

令和6年1月29日(月)名古屋市内の会場に、亀谷技術委員長が参加した。

(3) 静岡県ふじのくに i-Construction 推進支援協議会に参画

(当初の名称 静岡県CALS/EC推進協議会)

静岡県CALS/EC推進協議会会長は静岡県交通基盤部長、副会長は(一社)静岡県建設業協会会長である。当協会は委員として会長、専門部会委員として技術委員長、作業部会委員として技術委員の3名が参画している。また、i-Constructionに取り組むため専門部会を母体に設置された情報化施工推進WGと平成28年12月22日に設立された「ふじのくに ICT 活用工事支援協議会」には、当協会から技術委員長、技術委員が参加した。

なお、「ふじのくに ICT 活用工事支援協議会」は、平成29年7月19日に「ふじのくに i-Construction 推進支援協議会」に改称され、現在、当協会からは亀谷技術委員長、深民技術委員、倉田特別委員の3名が参画している。

第1回 第1回 令和5年9月5日(火) 15:00~16:30 ハイブリット開催
3名は現地2名とオンライン1名で出席した。

規約の改正、最新技術の動向、データ取得・活用に関する取組、今年度の取組等が発表や話し合わせた。

第2回 令和6年3月12日(火) 13:30~15:30 オンライン会議開催

①技術委員会ワーキンググループ会議

第1回 日時 令和5年7月27日(木) 13:30~16:30

会場 協会会議室、県交通基盤部未来まちづくり室とともに

- ・電子基準点、路線3次元化、BIM/CIM、土工の3次元設計、その他マニュアル化、座長の選出について 行った。

第2回 日時 令和5年8月31日(木) 13:00~15:00

会場 Zoomによる会議(各社からの参加)

県未来まちづくり室と(一社)日本建設機械施工協会による

- ・測量業務における静岡県GNSS基準局の活用について
- ・測量業務における点群データの活用について 話し合った。

第3回 日時 令和6年1月31日(水) 15:00~17:00

会場 静測協会会議室とZoomによる併用会議

- ・電子基準点について
- ・取得済み点群データを用いた路線測量

マニュアル（案）について 話し合った。

(4) 静岡市CALS／EC推進協議会に参画

静岡市CALS／EC推進協議会会長は静岡市建設局土木部長、副会長は静岡市建設局道路部長、(一社)静岡建設業協会会長、(一社)清水建設業協会会長である。

当協会は委員として会長、専門部会委員として企画委員が参画している。

なお、平成24年3月5日(月)開催以降開かれていない。

(5) 静岡大学土木情報学研究所への参加

学内に令和2年10月1日設立され、当協会も参画し、情報共有を図っている。

プロジェクト研究所「土木情報学研究所」は1期3ヶ年を終え、大学の審査でA評価を受けて、第2期は引続き連携強化・社会実装に加え、人材育成も加えるとのことで、協会も引き続き参加していく。

(6) 静岡理工科大学理工学部土木工学科の「静岡土木技術研究会」の参加

令和4年4月開講の理工学部土木工学科から共通して抱えている課題解決の産学官による研究会の立上げに参加することとした。

牧田西部支部長が、定期的な会議に参加している。

(7) 静岡県のみらいの「県土」研究会への参加

県内の建設業全体で持続可能な建設発生土処理の実現に向けて、関係者の連携を強化するとともに、建設発生土を取り巻く諸課題について共有し、建設発生土対策を推進するために令和5年2月27日に設置された。

第2回開催 令和5年6月9日14時から16時 県庁別館8階第1会議室

・建設発生土の処理に関する基本方針について、ふじのくに土プロジェクト他服部副会長が代理出席した。

第3回開催 令和5年10月30日14時から15時 県庁西館第1会議室

・ストックヤードの設置、盛土材料取扱基準等

亀谷理事が代理出席した。

第4回開催 令和6年3月19日14時から16時 県庁西館第1会議室とWEB

・土づくりプロジェクト進捗報告 ・各団体の取組み

服部副会長が代理出席した。

10 調査委員会

(1) 土木積算S・E事業

県交通基盤部建設経済局技術調査課の協力を得て、開催している。

ア 土木積算定期講習会

日 時 令和5年7月4日(水) 12:50~16:00

場 所 静岡市民文化会館 中ホール

講習内容

(ア) 土木工事標準積算基準について

(イ) 土木設計積算システムについて

講師 静岡県交通基盤部 技術調査課職員 4 名

講習修了者 142 名

挨拶 会長代理 服部剛明副会長、運営 調査委員会及び事務局

協力 服部エンジニア株式会社

イ 土木積算初級（前期）講習会

日時 令和 5 年 8 月 23 日（水） 9：50～15：30

場所 静岡県静岡労政会館 6 階 大ホール

講習内容

(ア) 土木工事の積算について

(イ) 土木積算システム及び設計書作成方法について

講師 静岡県交通基盤部 技術調査課職員 4 名

講習申込者 52 名、講習修了者 48 名

ウ 土木積算初級（後期）講習会及び修了試験

日時 令和 5 年 10 月 4 日（水）：9：50～16：00

場所 静岡商工会議所 5 階 ホール

講習内容

(ア) 土木工事の積算について

(イ) 土木積算システム及び設計書作成方法について

(ウ) 終了試験

講師 静岡県交通基盤部 技術調査課職員 3 名

講習修了者・受験者 48 名

令和 5 年 10 月 25 日に土木積算システム運営委員会を開催した。

- (2) 静岡県の建設事務総合システムの利用許諾を前提に、協会は市町と「土木積算 S・E 選定要領に関する覚書」を締結している。

今年度は、川根本町と令和 5 年 5 月 17 日に覚書を締結し、締結済みは合わせて、御前崎市、袋井市、浜松市、掛川市、森町、菊川市、富士宮市、藤枝市、焼津市、松崎町、島田市、伊豆の国市、富士市、川根本町の 14 市町となる。

これにより、静岡県土木設計積算システム（SMILES-ASP）を利用して、電算帳票作成業務を「土木積算 S・E 資格者」が在職する測量設計業者に委託することができる。

1.1 災害対策委員会

- (1) 災害復旧事業技術研修会の Zoom によるオンライン開催

災害復旧の測量・設計業務を直接担当する技術者を対象に、（一社）静岡県建設コンサルタント協会と共催で、静岡県交通基盤部の協力のもとオンライン

研修を行うもので、当初 6 月 23 日開催予定であったが、台風 2 号の影響で延期して下記のとおり開催した。

日 時 令和 5 年 11 月 14 日（火）13：20～16：50

会 場 Zoom によるオンライン研修（運営 協会会議室、講師 県庁会議室他）

講 師 静岡県交通基盤部土木防災課・道路保全課、不二総合コンサルタント
（株掛川支店 岡村技術部次長

登録者数 212 名、接続箇所 66 箇所、レポート提出者 98 名

（2）静岡県及び県内市町等との「災害時における測量設計等業務委託に関する協定」について

災害協定の目的は、災害応急復旧工事に必要な測量設計等業務を迅速に実施することにより、公共土木施設等の機能の確保又は回復を図ることである。静岡県交通基盤部、経済産業部 7 農林事務所（治山、森林、農地）、静岡県道路公社、静岡県教育委員会、静岡県企業局及び下記表の市町と「災害時における測量設計等業務委託に関する協定書」（以下「災害協定書」という。）を締結している。

災害協定締結市町は、県下 35 市町のうち 34 市町である。未締結の御前崎市には、勧誘とメールで情報提供したが回答は無い。

[これまでの経過]

- ① 平成17年3月30・31日 静岡県建設部の 13 事務所長と災害協定書を締結した。
- ② 平成17年11月22日 焼津漁港管理事務所長と災害協定書を締結した。
- ③ 平成18年12月20日 浜松市長と災害協定書を締結した。
- ④ 平成19年 3月13日 静岡市長と災害協定書を締結した。
- ⑤ 平成21年 5月25日 静岡空港管理事務所長と災害協定書を締結した。
- ⑥ 平成21年 7月 1日 静岡県建設部の 13 事務所長（土木関係）と
～16日 災害協定書及び実施細目の変更協定書を締結した。
主な変更箇所は、様式第 2 号（技術者総括表）である。
- ⑦ 平成21年 8月19日 静岡県経済産業部の出先 7 農林事務所（治山・森林関係）
～31日 と災害協定書を締結した。
- ⑧ 平成21年11月 1日 川根本町長と災害協定書を締結した。
- ⑨ 平成21年11月30日 藤枝市長と災害協定書を締結した。
- ⑩ 平成21年12月25日 島田市長と災害協定書を締結した。
- ⑪ 平成22年 1月 8日 焼津市長と災害協定書を締結した。
- ⑫ 平成22年 2月 8日 吉田町長と災害協定書を締結した。
- ⑬ 平成23年 4月 1日 三島市長と災害協定書を締結した。
- ⑭ 平成23年 6月 1日 伊豆の国市長と災害協定書を締結した。

- ⑮ 平成23年11月25日 小山町長と災害協定書を締結した。
- ⑯ 平成24年 1月13日 掛川市長と災害協定書を締結した。
- ⑰ 平成24年 1月19日 菊川市長と災害協定書を締結した。
- ⑱ 平成24年 7月18日 静岡県交通基盤部長と災害協定書を締結した。
この締結にともない、①②⑤との協定を廃止した。
- ⑲ 平成24年 9月25日 牧之原市長と災害協定書を締結した。
- ⑳ 平成24年11月 5日 河津町長と災害協定書を締結した。
- ㉑ 平成25年12月12日 富士市長と災害協定書を締結した。
- ㉒ 平成25年12月20日 清水町長と災害協定書を締結した。
- ㉓ 平成26年 3月 4日 森町長と災害協定書を締結した。
- ㉔ 平成26年 3月24日 沼津市長と災害協定書を締結した。
- ㉕ 平成26年 7月24日 磐田市長と災害協定書を締結した。
- ㉖ 平成26年 8月 4日 西伊豆町長と災害協定書を締結した。
- ㉗ 平成26年 8月22日 静岡県道路公社と災害協定書を締結した。
- ㉘ 平成26年 9月30日 袋井市長と災害協定書を締結した。
- ㉙ 平成27年 1月19日 湖西市長と災害協定書を締結した。
- ㉚ 平成27年 7月16日 富士宮市長と災害協定書を締結した。
- ㉛ 平成28年 8月24日 南伊豆町長と災害協定書を締結した。
- ㉜ 平成30年 3月28日 静岡県経済産業部の7農林事務所長（山地災害・治山
施設等の災害・農地農業用施設災害）と災害協定書を締
結した。この締結に伴い、⑦との協定を廃止した。
- ㉝ 平成30年 3月29日 静岡県教育委員会教育長と災害協定書を締結した。
- ㉞ 平成30年 6月22日 東伊豆町長と災害協定書を締結した。
- ㉟ 平成30年12月19日 松崎町長と災害協定書を締結した。
- ㊱ 平成31年 1月16日 長泉町長と災害協定書を締結した。
- ㊲ 平成31年 3月 8日 下田市長と災害協定書を締結した。
- ㊳ 令和元年11月15日 静岡県企業局と災害協定書を締結した。
- ㊴ 令和 2年 3月 5日 函南町と災害協定書を締結した。
- ㊵ 令和 2年 7月17日 伊東市と災害協定書を締結した。
- ㊶ 令和 2年10月19日 伊豆市と災害協定書を締結した。
- ㊷ 令和 3年10月18日 御殿場市長と災害協定書を締結した。
- ㊸ 令和 3年12月 9日 熱海市長と災害協定書を締結した。
- ㊹ 令和 4年 2月 4日 裾野市と災害協定書を締結した。

なお、協定書締結に伴い締結先に毎年「協力者名簿」を提出している。

また、協定書は当協会のホームページに掲載している。

(3) 遠隔地の他県測協との「広域災害時相互応援に関する協定」について

東日本大震災の教訓から、南海トラフ大地震等広域災害発生時に不足する測量設計技術者を確保するため、同時被災のリスクが少ない静岡県と熊本県の測協間の災害協定を締結するように、静岡県と熊本県のご指導を受け、平成26年7月31日に両県立会いの下、(一社)熊本県測量設計コンサルタント協会と「災害時相互応援協定」を締結した。

同様な主旨から、平成28年8月3日、静岡県と鹿児島県立会いの下、静岡県庁にて(公社)鹿児島県測量設計業協会と「災害時相互応援協定」を締結した。

今年度は、当番である鹿児島県において10月17～18日に藤山会長、服部副会長、松井災害対策委員長、齋理事、望月専務理事の5名が参加し、被災現場の視察と意見交換会を行った。

(4) 災害時応援協定締結者との出動要請・応諾訓練や研修会等

ア 県危機管理部主催災害時応援協定締結業者研修会

日 時 令和5年7月18日(火)14時30分～16時15分

場 所 静岡県男女共同参画センターあざれあ 大ホール

参加者 松井災害対策委員長、望月専務理事

イ 静岡県交通基盤部13出先機関との出動要請・応諾訓練

日 時 令和5年8月22日～10月の間

協力者 協力会員

ウ 富士宮市災害時応援協定・ライフライン防災連絡会の参加

日 時 令和5年8月10日(月)14時～15時30分

参加者 松井災害対策委員長

・富士宮市との情報伝達訓練(メール送受信)

日 時 令和5年8月30日(水)9時～10時

担 当 東海技術開発(株)

エ 掛川市災害時応援協定締結事業所連絡会の参加(市役所内)

日 時 令和5年11月24日(金)14時～17時

参加者 松井災害対策委員長

オ 令和6年度静岡県・熱海市・伊東市総合防災訓練全体説明会(MOA美術館)

日 時 令和6年1月30日(火)11時～12時

参加者 松井災害対策委員長

(5) 静岡県建設副産物対策連絡協議会への参画

静岡県建設副産物対策連絡協議会長は静岡県交通基盤部長、副会長は交通基盤部理事である。当協会は、委員会に会長、幹事会に災害対策委員長、実務担当者

として事務局長が参画している。

- (6) 全測連中部地区協議会 3 県による災害応援に関する協定の Web 会議
2 年間にわたる各協定の見直しを行い、令和 5 年 6 月 2 日付で協定書が運用とともに締結され、連絡協議会が設置された。
- (7) 災害時における山梨・静岡・神奈川県測協の応援協力に関する協定締結
(一社) 静岡県・山梨県・神奈川県測量設計業協会 3 者は、令和 3 年 12 月 17 日(金)に 3 県測協による広域応援協定を締結した。
今年度の訓練は、日程等調整が着かず中止した。
- (8) 令和 6 年能登半島地震災害復旧業務の支援
全測連を通じて石川県測協から協力依頼が令和 6 年 1 月 19 日にあり、当協会
は 5 社 7 班の応援を回答した。石川県測協から令和 6 年 2 月 2 日付でお礼と現
状報告があり、3 月以降の再度の応援要請になるとの連絡があった。
また、この災害が甚大なため、令和 6 年 1 月 24 日付で全測連の災害支援金
制度に基づく 10 万円の拠出依頼があり、当協会も協力した。

1 2 倫理委員会

(1) 独占禁止法遵守研修会

当協会、(一社) 静岡県建設コンサルタント協会、(一社) 静岡県地質調査業協会、(一社) 日本補償協会コンサルタント協会中部支部静岡県部会の県内建設関連業 4 団体の共催により開催した。

日 時 令和 5 年 11 月 8 日(水) 13:45~16:00

会 場 静岡県男女共同参画センター あざれあ 2 階 大会議室

講 師 公正取引委員会事務総局 中部事務所総務課経済係 係長 山中康平

研修内容 官製談合防止法等について

官製談合防止法と独占禁止法と入札談合防止の 2 題を合わせて講義を行った。

参加者 44 名

- (2) 当協会のホームページ・会員名簿及び機関誌新年号に「倫理綱領」を掲載し、
会員企業の社員に法令遵守を喚起している。この倫理綱領は、測量設計業に携
わる者の基本的なルールであり行動指針であるので、会員企業の執務室に掲示
するなど、周知徹底に努めている。

1 3 積算システム運営委員会

令和 5 年 10 月 25 日(水)、静岡県交通基盤部技術調査課の担当者に出席いた
だき、協会会議室において第 1 回積算システム運営委員会を開催し、令和 5 年
度土木積算初級研修会の修了試験の結果について審議した。

その結果、受験者 48 名中、合格者は 47 名であった。

「土木積算 S・E」の試験の受験者数は、制度創設当初を除けば平成 9 年度をピークに減少傾向である。平成 4 年度から令和 4 年度までの合格者は 1,850 名であるが、令和 5 年 11 月 25 日現在「土木積算 S・E」資格者として台帳に登録されている者は 636 名である。(内訳：会員 519 名、会員外 117 名)

1 4 他団体への講師派遣〈技術委員会担当〉

静岡県建設技術監理センターの依頼により、静岡県土木技術職員研修「採用 1 年目研修」(測量概論・測量演習 [実測・計算]) に下記の中支部会員 5 社から講師を派遣した。

派遣年月日：令和 5 年 5 月 17 日 (講義)、18・26 日 (実習・県と市町別)

講師を派遣した会員：昭和設計(株)、(株)建設コンサルタントセンター

(株)スルガコンサル、服部エンジニア(株)、(株)ツルタコンサルタント 計 5 社

測量 CPD は、講師として参加者全員に 1 時間当たり 3 ポイントを取得した。

1 5 他団体等が主催する講習会等への参加

(1) 「測量新技術研修会【第 1 回 WEB 講習会】」

主 催 (一社) 東京都測量設計業協会

日 時 令和 5 年 5 月 26 日～6 月 9 日

会 場 YouTube 視聴

(2) 「第 18 回技術研究発表会」

主 催 (一社) 静岡県建設コンサルタンツ協会

日 時 令和 5 年 7 月 7 日 (金) 9 : 50～16 : 30

会 場 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ ホール風
ライブ配信あり

(2) 「第 17 回地盤技術講習会」

主 催 (一社) 静岡県地質調査業協会

日 時 令和 5 年 7 月 28 日 (金) 13 : 30～17 : 20

会 場 静岡市産学交流センター (ペガサート 6 階)

(3) 「公共物管理等の実務講習会【第 2 回 WEB 講習会】」

主 催 (一社) 東京都測量設計業協会

日 時 令和 5 年 8 月 16 日～8 月 31 日

会 場 YouTube 視聴

(4) 「建設産業構造改善推進のつどい」

主 催 静岡県交通基盤部・静岡県建設産業団体連合会

日 時 令和5年9月5日(火) 13:30~15:30

会 場 静岡市産学交流センター (ペガサート 6階)

(5) 「新技術交流イベント 2023in Shizuoka」

主 催 静岡県交通基盤部(事務局 静岡県建設技術監理センター)

日 時 令和5年10月24日(火) 10:00~16:00

会 場 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

(6) 「ジオフォーラム 2023 in 静岡」

主 催 (一社)静岡県地質調査業協会

日 時 令和5年11月10日(金) 10:00~16:30

会 場 しずぎんユーフォニア アゴラ 8階

(7) 「第27回農地技術研究発表会」

主 催 静岡県経済産業部農地局農地整備課

日 時 令和5年11月15日(水) 10:00~16:10

会 場 静岡県男女共同参画センターあざれあ6階 大ホール

他にもありますが、割愛した。

1.6 支部活動

「東部支部」

令和5年

4月7日 支部監査・支部理事会 於 ベルフォーレながいずみ 15:00~
出席者 5名(支部長・理事 2名・監事 2名)

4月25日 令和5年度支部総会 於 みしまプラザホテル 10:00~12:00
会員総数 30名 出席者数 26名 委任状 3名

- ・平成4年度事業報告
- ・平成4年度収支決算報告書及び監査報告並びに承認の件
- ・令和5年度事業計画(案)承認の件
- ・令和5年度収支予算(案)承認の件

5月9日 沼津土木事務所長との面談 於 沼津土木事務所 14:00~
出席者 3名(鈴木支部長・齋理事・勝間田理事)

- ・東部支部活動の予定とお願い

6月12日 第1回支部役員会 13:30~ 於 プラザヴェルデ

出席者 16名(支部長・理事・監事・各委員会委員長副委員長)

- ・東部支部、活動内容について
 - ・沼津土木事務所との意見交換会について
 - ・奥野ダム教室について
 - ・土木の日について
 - ・その他
- 会議終了後、3団体会員名簿ファイリング

- 7月26日 熱海土木事務所主催「ダム教室」8：30～13：00
 測量体験 於 奥野ダム 378名来場
 出席者：支部長、勝間田理事、鈴木委員長、二村委員長、鈴木監事
 RB コンサルタント2名、中野測量設計事務所2名
 ウィンディーネットワーク4名
 トランシットを使って測量体験（歩測）、VR体験
 分県パズル50部、支部ノベルティ配布
- 9月20日 熱海土木事務所 優良建設工事・優良業務委託表彰式及び安全管理等研修
 会 13：00～
 支部長 来賓として出席
- 10月11日 第2回支部役員会 於 プラザヴェルデ 9：30～
 出席者 10名（支部長・理事・監事・各委員会委員長）
 ・沼津土木事務所意見交換会について ・支部全体協議会について
 ・土木の日について ・その他
- 10月20日 沼津土木事務所との意見交換会 於 東部総合庁舎別棟会議室10：00～
 出席者 沼津土木事務所：曾根所長及び幹部職員14名
 東部支部：支部長及び各委員長10名
 ・協会からの要望一覧表の提出
 ・協会からの意見交換テーマ
 ・沼津土木事務所からの意見交換テーマ
- 11月18日 沼津土木事務所主催「土木の日」測量体験 沼津港9：00～16：00
 出席者：支部長、市野広報経営改善委員長、土屋調査委員長、鈴木保宏技術
 委員長、大井企画委員長、二村災害対策委員長、東海建設コンサルタント3
 名、東日3名、滝口測量設計1名、ウィンディーネットワーク4名 計14名
 ・VR体験、分県パズル、ノベルティ配布、※測量体験は強風のため中止
- 11月18日 下田土木事務所主催「土木の日」測量体験 道の駅「開国下田みなと」
 10：00～15：00
 出席者：ウィンディーネットワーク10名
 ・VR体験、測量体験を実施 分県パズル、ノベルティ配布
- 12月1日 支部全体協議会 於 みしまプラザホテル 13：00～
 出席者22社40名
 1. 研修 「3次元点群データを活用したコンピューターグラフィックス(CG)
 の取り組み」講師（株）ウィンディーネットワーク 東京本部 土屋智生
 2. 静岡県東部4土木事務所長・田子の浦港管理事務所所長講話（座談会形式）
 3. 意見交換会

令和6年

- 2月19日 第3回支部役員会 於 プラザヴェルデ 14:00～
出席者 9名 (支部長・理事・監事・各委員会委員長)
・役員改選について ・東部支部総会・監査について
・研修会開催について ・協会創立50周年記念誌部会 (西部より)
・その他

「中部支部」

令和5年

- 4月26日 中部支部評議委員会 グランドホテル中島屋 中部支部15社
・令和4年度令和年度事業報告 (中部支部各部会)
・令和4年度収支決算報告及び監査報告
・令和5年度事業計画 (案) 承認
・令和5年度事予算 (案) 承認
・中部支部総会議案説明 ・中部支部事業分担
- 5月17・18 静岡県交通基盤部令和5年度採用1年目研修
・26日 (県市町職員土木技術者1年目研修) 於 静岡県建設技術監理センター
講師 中部支部5社により3日間派遣
17日 座学 18日 県職員 測量実習 26日 市町職員 測量実習
- 6～8月 台風2号災害 静岡土木・島田土木・静岡市からの災害への対応
- 6月7日 中部支部評議委員会 グランドホテル中島屋 中部支部9社
・静岡県土木関係者との意見交換会について
・名簿配布活動について
- 6月28日 中・東部地区会名簿配布 9社
西部地区会名簿配布 8社
- 7月14～15日 中部支部研修旅行 横浜市内 10社
- 10月27日 静岡県土木関係者との意見交換会 中島屋グランドホテル
出席者 静岡土木4名、島田土木3名、清水港2名
焼津漁港1名、支部会員11名
- 11月21日 「地図教室」の開催 静岡市立西奈小学校
参加者:100名(5年生) 講師等:中部支部5社
- 12月6日 中部支部評議委員会 グランドホテル中島屋 中部支部9社
・令和6年度役員人事について

「西部支部」

令和5年

- 4月14日 第41回通常総会 於 呉竹荘 17:15～ 出席者12名
- ・令和4年度事業報告及び収支決算について
 - ・令和4年度研修会特別会計収支決算について
 - ・令和5年度事業計画案及び収支予算案について
 - ・令和5年度研修会特別会計事業計画案及び収支予算案について
- 5月29日 第1回全員協議会 於 不二総合コンサルタント(株) 5階会議室
13:00～ 出席者 12名
- ・理事会報告 ・各委員会報告
 - ・県西部地区土木事務所・企業局幹部職員との意見交換会について
 - ・中田島砂丘絶滅危惧種（カワラハンミョウ）の保護活動について
 - ・その他 今年度の事業計画について
- 6月6日 地図教室開催 於 新原小学校 13:25～
4年生 41名参加 講師等 西部支部4社
- 6月9日～ 研修旅行開催(熊本地震復興状況視察)
- 11日 九州熊本・福岡方面 西部支部10社参加
- 7月7日 浜工どぼくらぶ講座
於 静岡県立浜松工業高校 土木科1年生参加 講師等 西部支部2社
- 7月10日 創立50周年記念誌部会第1回開催 午前10時～
於 不二総合コンサルタント(株) 5階会議室 8名参加
- 8月4日 第2回全員協議会開催 於 不二総合コンサルタント(株) 5階会議室
11:00～出席者 12名
- ・理事会報告 ・各委員会報告 ・今年度の事業について
- 西部支部納涼会開催 ホテルクラウンパレス 17時30分～
- 9月19日 浜松どぼくらぶ会議 建設キャリア講座
於：浜松市立葵が丘小学校 10:00～ 静測協・生コン協・浜建協
浜松土木事務所・葵が丘小学校6年生70名参加
- 9月21日 第3回全員協議会 於 不二総合コンサルタント(株) 5階会議室
11:00～出席者 12名
- ・理事会報告 ・各委員会報告 ・社長研修会について
 - ・県西部地区土木事務所及び企業局との意見交換会について
 - ・その他
- 9月27日 静岡県西部地区土木事務所・企業局幹部職員との意見交換会
於 浜松土木事務所9F会議室 静測協会員12名、土木事務所及び企業局職

員12名参加

- ・台風2号災害の状況と協力要請他について

10月3日 中田島砂丘絶滅危惧種（カワラハンミョウ）の保護活動実施
於 浜松市中田島砂丘 静測協協会員他 29名参加

- ・外来生物の除去作業を浜松土木事務所職員と合同にて実施

11月7日 創立50周年記念誌部会第2回開催 午前10時～

於 不二総合コンサルタント(株) 5階会議室 11名参加

12月14日 第4回全員協議会及び冬季研修会

出席者 13名 於 浜松市西区館山寺町「時わすれ開華亭」

- ・理事会報告・各委員会報告・支部活動について

令和6年

1月16日 西部支部新年挨拶回り

- ・静岡県西部地区土木事務所・農林事務所・企業局他

2月7日 創立50周年記念誌部会第3回開催 午前10時～

於 不二総合コンサルタント(株) 5階会議室 9名参加

2月27日 第5回全員協議会 於 不二総合コンサルタント(株) 5階会議室

13:00～ 出席者 13名

- ・理事会報告 ・各委員会報告 ・西部支部研修旅行について

3月21日 七夕豪雨啓発事業準備会 於 浜松土木事務所 903 会議室

10:00～出席者 牧田支部長、竹内副支部長

「七夕豪雨から50年とこれから」と題しパネル展等啓発行事への参加要請

1.7 (一社) 全国測量設計業協会連合会事業

(1) 令和5年度 定時総会

令和5年6月13日(火) 15時から全測連測量年金会館(東京都内)において開催され、藤山会長が出席した。

(2) 令和5年7月13日(木) 自由民主党・測量設計議員連盟の会長田中和徳衆議院議員他5名と野瀬・岩松両会長、藤山会長は名古屋市内の国土交通省中部地方整備局中部技術事務所の中中部インフラDXセンターにおいて、佐藤中部地方整備局長や八尾企画部長等から国のDXの取組みの説明を受け、その後に意見交換を行った。

(3) 全国会長会議

令和5年10月24日(火) 香川県高松市で開催され、藤山会長は欠席した。

(4) 経営委員会

藤山会長は、経営委員会調査研究部会に所属していて、令和5年4月26日

- (水) 13時3分～測量年金会館で行われ、会場出席した。
- (5) 自民党測量設計議員連盟総会
令和5年6月14日(水) 午前に開催され、藤山会長は出席した。
- (6) 会長懇親会及び新春賀詞交歓会(日本海運会館)
令和6年1月10日(水) 午後に開催され、藤山会長は出席した。
- (7) 経営委員会合同部会会議(全測連8階会議室)
令和6年1月17日(水) 午後に開催され、藤山会長は出席した。

1.8 (一社) 全測連中部地区協議会事業

- (1) 役員会・会長会議
役員会議年2回、会長会議1回開催し、協議会の運営、事業活動及び当面の課題等について協議することとしている。
藤山会長が協議会副会長、鈴木・服部・牧田副会長が協議会幹事、望月事務局局長が事務局に就いている。
今年度は、令和5年7月4日(火) 午後2時から正副会長が参加して、第1回役員会が行われ、(公社)日本測量協会との合同講演会にも理事らは出席した。
- (2) 中部地方整備局との要望会(再掲)
要望会は、令和5年12月8日(金)に中部地方整備局内で行われ、鈴木副会長が出席した。
- (3) 中部地方整備局長との災害協定
平成21年4月、中部地区協議会会長は、中部地方整備局長と「災害又は事故における中部地方整備局所管施設等の緊急的な応援対策の支援に関する協定書」を締結したが、テックフォースとの連携、リエゾン(情報連絡員)による情報共有、協定対象エリアの拡大等を目的として、平成25年3月1日に協定書が改定されている。この協定書に基づく「令和5年度災害等援助協力体制表」を中部地方整備局に提出した。協定書は、当協会のホームページに掲載している。
- (4) 愛知県、岐阜県及び静岡県測量設計業協会会長との災害協定
平成23年3月23日 中部地区協議会の3県の測量設計業協会会長と「災害時における中部地区県測協の応援協力に関する協定」は、2年にわたる見直しを経て、令和5年6月2日付で運用とともに再締結され、連絡協議会を設けた。
協定書は、当協会のホームページに掲載している。
- (5) i-Construction 中部ブロック推進本部オンライン会議が9月27日に行われ、亀谷技術委員長が参加した。

(6) グループ保険の取扱い

会員の職員の福利厚生のため、グループ保険の取扱いを継続した。

19 (一社) 静岡県建設産業団体連合会事業

(1) 定時総会

令和5年5月24日(水)10時30分から静岡県静岡労政会館会議室において開催され、望月専務理事が出席した。

(2) 県交通基盤部との共催の「建設産業構造改善推進のつどい」は、令和5年9月5日(火)13時30分から15時30分、静岡市のペガサートにおいて開催され、望月専務理事が出席した。

(3) 「建産連と県との意見交換会」は、令和5年10月17日(火)10時から12時静岡市のペガサートにおいて開催され、亀谷理事が出席した。

(4) 県交通基盤部との共催の「静岡県建設産業セミナー2023」は、12月5日(火)13時30分から15時30分 あざれあにおいて開催され、会員職員が出席した。

20 慶弔費

社屋新築祝い金2件と死亡弔慰金5件については、内規により対応した。

(新社屋新築祝い金を広く会員に周知してもらうため、社長研修会や総会懇親会において行うこととした。)

(内規は、協会のホームページに掲載)